

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【公開番号】特開2006-260684(P2006-260684A)
 【公開日】平成18年9月28日(2006.9.28)
 【年通号数】公開・登録公報2006-038
 【出願番号】特願2005-77212(P2005-77212)
 【国際特許分類】

G 1 1 B 33/10 (2006.01)

G 1 1 B 5/012 (2006.01)

G 1 1 B 5/09 (2006.01)

G 1 1 B 33/14 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 33/10 6 0 2 D

G 1 1 B 5/012

G 1 1 B 5/09 3 1 1 Z

G 1 1 B 5/09 3 6 1 Z

G 1 1 B 33/14 5 0 1 W

【手続補正書】
 【提出日】平成19年12月11日(2007.12.11)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 2】

小型ハードディスクは小型、大記録容量など利点を有するので、近年、携帯情報端末や携帯電話、MP3プレーヤーなど携帯用電子装置に応用されることが盛んになってくる。例えばリンゴ製のiPodウォークマン、JVC会社製のDVDビデオレコーダー、ソニー製のネットワークウォークマン(NW-HD1~3シリーズ)にはこのような小型ハードディスクを内蔵していることが知られている。

例えば、特許文献1には、ノートパソコン等の携帯用コンピュータに用いられるディスクドライブが開示されている。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 6】

第二は、前記ハードディスク9の異常動作(速度や角度の変化、振動)を検知する加速度センサー(図示せず)を付設する方法であり、即ち、当該加速度センサーで前記ハードディスク9乃至電子装置全体の落下を検知してから、処理ユニットにより指令を出し、前記磁気記録媒体92の回転を停止させると共に前記磁気ヘッド951を前記安全領域に待避させる方法である。この第二の方法では、前記磁気ヘッド951を前記安全領域に待避させ、前記磁気記録媒体92とあたることを有効に避けることができるが、前記検知から前記磁気ヘッド951が前記安全領域に待避するまで300~400ms程度の長い時間がかかるので、前記磁気ヘッド951が床面に落ちついたまでまだ前記安全領域に待避しなくて前記磁気記録媒体92にあたって損傷を生じる可能性が大きい。即ち、従来のハー

ドディスク 9 を内蔵した電子装置は、耐衝撃性がよくないという欠点がある。

【特許文献 1】米国特許第 5 9 8 2 5 7 3 号明細書（第 3 ～ 第 4 欄、図 1 ）